

SDGs 達成に向けた宣言書

宣言者 所在地 秋田県大館市字桂城 29
 明星ビル 3F
 名称 NPO 法人あき活 Lab
 代表者 三澤 雄太

NPO 法人あき活 Lab

は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を次のとおり宣言します。

SDGs 達成に向けた取組方針等と目指す姿

人口減少、東京一極集中など、人々の営みの変化により、加速度的に増加する空き家。そのなかでも、所有者不明、相続放棄などで放置される空き家が社会問題となっています。

私たちは、取組みを通して、放置される空き家を減らし、次の使い手へとバトンを渡す好循環を生み出すことを目的として活動します。

また、空き家を資源と捉え、利活用の促進に努めます。とくに注力したいのは、生活困窮者世帯へ空き家を活用した住まいの提供、地域のコミュニティサロンとしての空き家利活用です。そのほかにも、趣味の物を保管するトランクルームとして、新規ビジネス立ち上げたに向けたチャレンジショップとして、など空き家の利活用の幅は無限大です。もっと気軽に空き家をシェアし、維持管理できる仕組みを作り出します。

環境的な側面では、建物解体時のゴミ排出削減に努めます。遺品整理業者、古材・古道具業者と連携し、分別・資源再利用を強化した「リユース解体」を促進させ、環境負荷の少ない解体を実現します。

3 側面 (主な分野に☑)	SDGs 達成に向けた 重点的な取組	2030 年に向けた 指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況 <small>(※初回記入不要。1年ごとに要報告) 初回登録年月日：R3年 11月 19日</small>	関連する主な SDGs ゴール (最大3つ)
☑経済 ☑社会 ☑環境	空き家の相談窓口を通して、放置される空き家を1件でも多く減らす	大館市内全戸に対して独自の空き家調査(所有者の意向調査)を実施 (状況把握率 2021年 0% → 2030年 80%)		11 12 17
☑経済 ☑社会 □環境	生活困窮世帯へ空き家を活用した住まいの提供	生活困窮世帯への住居提供 (2021年 0件 → 2030年 30件)		3 5 17

<input checked="" type="checkbox"/> 経済 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 環境	解体によるゴミ削減 古材、古道具のレスキューや遺品整理業者との連携	解体時に生み出されるゴミを削減できる”リユース解体”の実施件数を増やし、二酸化炭素排出量削減を目指す。(大館市の年間解体総数におけるリユース解体の割合 2021年 0%→2030年 20%)	12 13 15
---	--------------------------------------	---	----------------

ゴール番号	内容	アイコン
1	貧困をなくそう	
2	飢餓をゼロに	
3	すべての人に健康と福祉を	
4	質の高い教育をみんなに	
5	ジェンダー平等を実現しよう	
6	安全な水とトイレを世界中に	
7	エネルギーをみんなに、そしてクリーンに	
8	働きがいも経済成長も	

ゴール番号	内容	アイコン
9	産業と技術革新の基盤をつくろう	
10	人や国の不平等をなくそう	
11	住み続けられるまちづくりを	
12	つくる責任、つかう責任	
13	気候変動に具体的な対策を	
14	海の豊かさを守ろう	
15	陸の豊かさも守ろう	
16	平和と公正をすべての人に	
17	パートナーシップで目標を達成しよう	